

JIS

包装—温度制御が必要な小包の輸送に用いる 包装容器の保冷性能試験方法

JIS Z 0241 : 2024

(JPI/JSA)

令和 6 年 10 月 21 日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 水 孝太郎	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	清 家 剛	東京大学
	高 津 章 子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	高 辻 利 之	一般社団法人日本計量機器工業連合会
	田 淵 一 浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立大学法人信州大学
	山 田 陽 滋	豊田工業高等専門学校

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 6.10.21

官 報 掲 載 日：令和 6.10.21

原 案 作 成 者：公益社団法人日本包装技術協会

(〒104-0045 東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル TEL 03-3543-1189)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 試験方法	3
4.1 試料の調整	3
4.2 包装容器の保冷性能試験	3
5 試験結果の報告	5
附属書 A (参考) 保冷性能試験を実施するための外部雰囲気温度条件の温度プロファイルの作成例	6
附属書 JA (参考) 温度制御するための包装システム及び包装材料	8
参考文献	10
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	11
解 説	14

まえがき

この規格は、産業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人日本包装技術協会（JPI）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

包装—温度制御が必要な小包の輸送に用いる 包装容器の保冷性能試験方法

Packaging—Temperature controlled transport packages for parcel shipping—Test method of cold retaining function

序文

この規格は、2021年に第1版として発行されたISO 22982-2を基とし、我が国の実情を反映させるため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、**附属書 JA** は、対応国際規格にない事項である。また、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。なお、規格利用者の便宜を図るため、**箇条 4** の細分箇条の構成を一部変更している。記載箇所を変更しただけの事項には、側線又は点線の下線は施していない。技術的差異及び記載箇所変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JB** に示す。

1 適用範囲

この規格は、小包輸送に使用される断熱材料などによって温度制御することを意図した包装容器の保冷性能試験方法について規定する。ただし、この規格では、アクティブパッケージングシステムの保冷性能については適用しない。また、その他の理由のために規制を受ける製品（例えば、毒物、危険物、医薬品、医療器具など）の包装容器については、それらに関する規則が優先する。

なお、温度制御するための包装システム及び包装材料の例を、**附属書 JA** に示す。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 22982-2:2021, Transport Packaging—Temperature controlled transport packages for parcel shipping
—Part 2: General specifications of testing (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS Z 0108 包装—用語

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 21067-1, Packaging—Vocabulary—Part 1: General terms

JIS Z 8401 数値の丸め方